岡山県教育庁義務教育課
令和2年4月30日　No. 1

臨時休業中における英語の家庭学習のススメ　Part.1

コロナウイルス感染症対策に伴う臨時休業期間中の家庭学習において、英語科では、新学習指導要領の目標となる「外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方」や「コミュニケーションを図る資質・能力」をどのように育むかが重要です。そのためには、単語や構文の反復練習に取り組むことに加え、実際に音声を聞いたり、自ら口に出して話したりする学習を意図的に組み込むことが必要です。

本通信では、英語に特化した家庭学習の取組方の一例を紹介しますので、各校の状況に応じてできるところから取組を進め、児童生徒の「学びを止めない」指導・支援をお願いします。

学校再開後の学習を視野に入れ、家庭学習を「宿題＋自主学習」となるよう、

■共通して取り組む課題（主たる教材である教科書及びそれと併用できる教材等）

■選択して取り組むことができる課題

（テレビ放送やオンライン教材等を活用した学習）

の２種類を準備し、それぞれの取組方を例示して生徒に提示します。

共通して取り組む課題　主たる教材である教科書に基づく家庭学習への取り組ませ方（例）

◆教科書準拠で購入したノート、または作成したワークシートを活用

①教科書の挿絵を基に、まずはどんな内容かを想像し、挿絵に関する英単語等を予想する。

②教科書を閉じて、指定された教科書会社のHPから本文を聞く。
（インターネット環境が十分でない生徒には別途対応する。）

③教科書を開いて、再度音声を聞きながら、分からない単語に線を引く。

④新出単語や分からなかった単語の意味を調べ、ノート等に書く。

⑤教科書会社のHPの音声を利用して、単語の発音練習をした後、音読練習をする。

⑥振り返りを行い、学んだことやできたことを再認識する。

登校日等を活用し、教師から実際に教科書とHPを活用して、どのように取り組めばよいかの見本を示し、家庭学習のやり方をイメージさせることが必要です。

岡山県マスコット
「うらっち」

選択して取り組むことができる課題　テレビ放送やオンライン教材等を活用した家庭学習への取り組ませ方（例）

文部科学省ホームページ「子供の学び応援サイト」に掲載されている教材や動画等を活用することを自主学習として紹介し、意欲の継続を促すことも考えられます。取組が軌道に乗れば、宿題として課すことも考えられます。

４技能に対応した動画や教材が準備されていますが、どう活用させるかの指示は教師がする必要があります。

Reading	・中学校外国語教材「Bridge」の音声を聞いて、音読練習する。 ・「やさしく読める英語ニュース」から、興味のある記事を読む。
Listening	・ラジオ英会話や、Eテレの英語番組を視聴する。 ・洋楽を聴いたり、好きな映画を英語音声・英語字幕で見る。
Speaking	・「Bridge」の内容を読んで、スピーチ練習する。 ・先生から与えられたテーマについて、スピーチする。
Writing	・「Bridge」の内容を読んで、自分の考えを書く。 ・英語で日記をつける。

岡山県マスコット
「ももっち」

どのような工夫をすれば、長期化が懸念される臨時休業中においても、生徒の学びを止めないか、まさに教師の腕を試されています。復習から予習への方向転換や、ICTの活用もその一助であり、「大きく変わる」チャンスでもあります。県教委からも引き続き情報を発信しますが、生徒の実態等を踏まえながら、生徒が継続的かつ充実した家庭学習にに取り組むことができる手立てを講じていきましょう。